

10. サラ金

<有害情報を得たときの状況>

サラ金というより正しくは、出資金サギ。大学生がうまい儲け話があると声をかけられ、30～50万円を出資させられた。大学が早期に対応した者についてはお金を取り戻すことができたが、後でわかった分については、結果としてだまし取られることとなった。

<有害だと感じた理由>

だんだん幼稚化している学生は、自らの判断力が極めて弱く、甘い言葉にだまされやすい傾向が強くなっている。

<取り組んだ事例>

警察への通報、当該学生及びその友人の聞き込み調査。

<行政や業界へ望むこと>

事件にならなければ動かない、或いは動けない警察に対し、早期警戒をお願いしたい。
(高知県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

自転車で通行中、JRの高架の橋げたに貸金業のチラシが貼られていた。

<有害だと感じた理由>

連絡先の電話番号を印刷した様々なチラシが無造作に貼られ、見た目にも良くないし、トラブルを誘発するような予感がしました。

<取り組んだ事例>

行動は起こしていません。

<行政や業界へ望むこと>

許可を得ていない物ならば厳しく取締まって欲しい。

(徳島県・男性・50代)

<有害情報を得たときの状況>

テレビCM。

<有害だと感じた理由>

サラ金の他銀行においても若者（タレント）を起用し、簡単にお金が借りられることをさわやかにコマーシャルしている。安易に借金する若者が増えるのではないか。

<取り組んだ事例>

特にないが自分の子どもには注意している。

<行政や業界へ望むこと>

自主規制の強化。

(福井県・女性・40代)

<有害情報を得たときの状況>

電柱にサラ金関連の広告が貼ってある。

<有害だと感じた理由>

誰でも簡単に借りることが出来る様な文章だった。

<行政や業界へ望むこと>

一般的には電柱広告は許可がない場合は違反だと思います。今後は電柱自体に罰則（罰金等）告知を望みます。

(愛知県・男性・40代)